

6 月 26 日 年間第 13 主日

私に従いなさい

ルカによる福音書 9 章 51 ~ 62 節

⁵¹ イエスは、天に上げられる時期が近づくと、エルサレムに向かう決意を固められた。⁵² そして、先に使いの者を出された。彼らは行って、イエスのために準備しようと、サマリア人の村に入った。⁵³ しかし、村人はイエスを歓迎しなかった。イエスがエルサレムを目指して進んでおられたからである。⁵⁴ 弟子のヤコブとヨハネはそれを見て、「主よ、お望みなら、天から火を降らせて、彼らを焼き滅ぼしましょうか」と言った。⁵⁵ イエスは振り向いて二人を戒められた。⁵⁶ そして、一行は別の村に行った。

⁵⁷ 一行が道を進んで行くと、イエスに対して、「あなたがおいでになる所なら、どこへでも従って参ります」と言う人がいた。⁵⁸ イエスは言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巣がある。だが、人の子には枕する所もない。」⁵⁹ そして別のの人に、「わたしに従いなさい」と言われたが、その人は、「主よ、まず、父を葬りに行かせてください」と言った。⁶⁰ イエスは言われた。「死んでいる者たちに、自分たちの死者を葬らせなさい。あなたは行って、神の国を言い広めなさい。」⁶¹ また、別の人も言った。「主よ、あなたに従います。しかし、まず家族にいとまごいに行かせてください。」⁶² イエスはその人に、「鋤に手をかけてから後ろを顧みる者は、神の国にふさわしくない」と言われた。

他の朗読：列王記上 19:16, 19 ~ 21 詩編 16:1, 2, 5, 7 ~ 11 ガラテヤ 5:1, 13 ~ 18

Lectio …読む

イエスは、あるサマリア地方の村で泊まる場所を必要としていましたが、サマリア人は、イエスがエルサレムに向かっていると分かりイエスを受け入れませんでした。

何世紀にもわたって、ユダヤ人とサマリア人の間には確執がありました。多くのユダヤ人は、サマリア人を異邦人以下とみなし、彼らとのいかなる関係を持つことも避けようとしていました。

サマリア人がイエスを退けた時、ヤコブとヨハネは激しく反応して、彼らを滅ぼすために神の裁きが実現されるよう望みます。しかしイエスは、弟子たちの反応を戒め、何事もなかったかのように先へ進みます。

次にルカは、イエスの弟子になりたがっていると思しき人々との出会いについて語ります。イエスは福音のために命をささげる道の中にあって、イエスの弟子になることを望む人々に完全な献身を求めます。そのためイエスは率直に話し、彼らの誠実さを試みます。

最初の出会いでイエスは「人の子には枕する所もない」と語ります。これはイエスの家は最終的にこの世に存在しない、ということを出し示すためなのです。同じことがキリスト者に当てはめられます。「わたしたちの本国は天にあります。」(フィリピ 3 章 20 節)

別の男性はイエスに従って行きたいのですが、その前に父親を葬りに行かせてくれるように頼みます。一見、これはもっともな要求に思えます。しかしイエスの答えは厳しく聞こえます。私たちは、親を敬うことは大切であるとイエスが思っていることは分かっています。私たちは、イエスに従うことを最優先しなければならないのです。家族の責務を果たすことは、イエスに従うことを遅らせる言い訳ではなく、イエスへの従順から生まれるものでなければならないのです。

同じ考えが、61、62 節で表わされています。鋤で畑をまっすぐに耕すためには、目の前にある使命に集中しなければなりません。後ろばかり顧みていたなら、もちろんそれてしまうのです。

前の週に学んだように、弟子になるために近道はありません。イエスが第一であるべきで、彼に従うためにはどんな犠牲でも払われなければならないのです。

Meditatio …黙想する

ここに含まれている考えは、何を優先すべきかについてのあなたの考えにどのような挑戦をしているのでしょうか。あなたは「はい、でも後で…」とイエスに言ったことはないでしょうか。

わたしたちはどのように「神の国を言い広める」ことができるのでしょうか。

ヨハネとヤコブがサマリア人に対して感情的な態度をとった後の、イエスの二人に対する態度について考えてみましょう。ここから私たちは何を学べるのでしょうか。

Oratio …祈る

今日の箇所を通して神があなたに話しかけてくれるように願ってみましょう。何を感じているか、正直に神に伝えてみましょう。

もしあなたが本当にイエスの弟子の一人になりたいのなら、あなたにとって神にささげるのが最も難しいと感じているところを、聖霊が助けてくれるように願いましょう。神に仕えることに集中し、物事に惑わされて神から引き離されることのないように、神に助けを願いましょう。

Contemplatio …観想する

神の国について考えてみましょう。あなたの人生にそれはどのような影響がありますか。イエスに従いイエスの弟子になるということは、真にどういう意味なのか考えてみましょう。